

コピー用紙購入量及びその低減対策

コピー用紙使用量の削減に取り組んでいます。

コピー用紙使用量4%の減少(前年比)

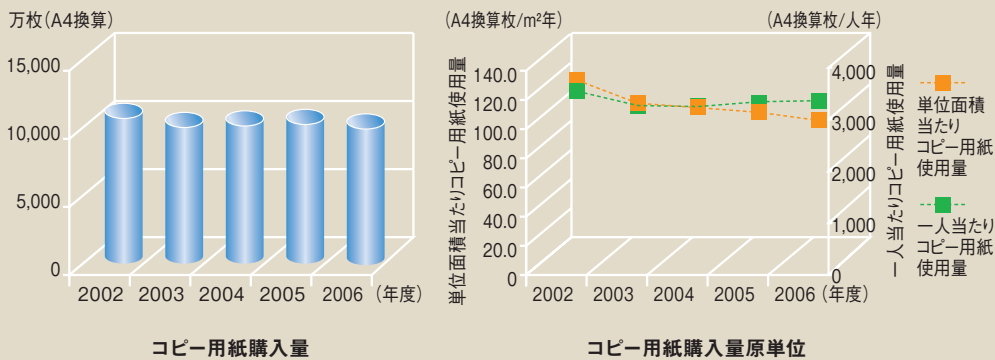


図 26 京都大学のコピー用紙購入量

2006年度、京都大学では、年間約1億枚(A4換算)のコピー用紙を使用しました。近年は横ばいか減少傾向にあります。

構成員一人が年間約3,000枚のコピー用紙を使用している計算になります。

(注) 上記グラフは大学共同購入により購入された量を集計したもので、各研究室が個別に購入した量は含んでいません。

コピー用紙削減活動については、これまででは一部の構成員による自主的な活動のレベルにとどまり、全学的な広がりをもつものとなっていませんでした。

運動を進めるにあたって問題となったのは、コピー用紙を削減することによって、どれくらいの資源や購入費用節減の効果がえられるのかわからず、構成員への動機付けが弱いという点でした。

そこで、削減効果を定量的に示すために、学内むけにコピー用紙削減診断を実施しました。診断は、コピー用紙使用状況のアンケートと現地調査を行いました。診断結果として、削減可能量及び経費削減効果を定量的に示し、削減に向けた改善項目を記載した報告書を関係者に配布しました。また、関係者の意識向上を目的にポスター作成・掲示しました。

また、アンケートでは数多くの改善

意見などをいただいています。今後は、これらの意見も参考にして改善策を提案していきます。

活動を始めて日が浅いため、診断の十分な効果はまだ出ていませんが、このような活動を続けることにより、コピー用紙およそ30%、年間3,000万枚(A4換算)の削減を目指しています。



コピー用紙削減ポスター

グリーン調達について

京都大学では、2006年4月1日に「環境物品等の調達の推進を図るための方針」を、策定・公表し、環境物品等の調達を推進しました。その結果、コピー用紙など全ての項目において、100%の調達を達成することができました。

2007年度以降の調達においては、2006年度の実績を踏まえ、引き続き環境物品等の調達の一層の推進を図り、可能な限り環境への負荷の少ない物品の調達に努めていきます。

参考：「環境物品等の調達について」は、ホームページをご覧ください。
http://www.kyoto-u.ac.jp/notice/O5_keiyaku/kbuppin.htm